

市議会だより

議会報告会特集

臨時号

No. 112

◆執行部に回答を求めた
質問・意見 …… 1～4

◆議会に対しての
意見・提言 …… 5～6

江津市議会では、本年5月に初めての議会報告会を市内4地区で開催しました。

概要については、市議会だより8月号でお知らせしていますが、会場で寄せられた質問・意見について、市からの回答が必要なものについては、議長名で市長に報告し、回答を求めました。

今回臨時号を発行し、執行部からの回答と、議会へのご意見について当日会場での議員回答を合わせて、お知らせします。(紙面の都合上、要点をまとめました。詳しくは江津市議会ホームページで公開しておりますのでご覧ください。)

執行部に回答を求めた質問・意見

防災行政用無線について

問 停電しても放送できるようにしてほしい。原因が何かも知らせてほしい。

【西部】

総務課 防災行政用無線子機は、通常は家庭用電源を用いるが、停電した場合には内蔵の乾電池を使い、約1週間程度は使用できる。電池は消耗するので定期的に点検をお願いしたい。その他のことについて、お困りの方は総務課へ連絡いただきたい。

問 もう少し色々な放送をしてほしい。【中部】

総務課 基本的には、災害の際の避難準備・勧告・指

成する。既に分担金を負担され、加入されている方もおられるので公平性を図る観点からこれ以上の分担金の引き下げは困難。

問 渡津町の嘉戸団地と塩田の間にある屋外拡声子局が塩田では聞こえない。

【中部】

総務課 屋外拡声子局は、江の川沿いや沿岸部を中心に、市内全域37カ所、スピーカー数にして118基を設置している。屋外拡声子局から離れている地域においてはさらなる増設が必要と考えており、より効率的、計画的に増設を行っていきたい。

障がい者福祉について

問 昨年12月に障がい者の日が制定された。

県知事の表彰がないと国の表彰は受けられない。江津市ではご尽力されている方に対して配慮はしているのか。【南部】

社会福祉課 ご指摘のとおり、国の表彰・叙勲等には前段階として県の表彰等を受けていることが条件にな

問 加入促進の論議がなされたのか。負担金が1万円以下にならないか。【中部】

総務課 本体価格は1台2万9千円する。平成24年度からも3年間は加入促進を図るため、市で半額を助

つっているものがある。そのため毎年度、国県からの表彰等対象者の推薦依頼の際には対象者の調査を行うが、市では民生児童委員、社会福祉法人等、ある程度の規模の団体に属する方しか把握できないのが現状。また、各団体において対象となる方の推薦をいただく場合もある。市民の皆様から情報をいただき、そのご苦勞に報いることができればと考えている。表彰・叙勲等の推薦は毎年度行っているもので、是非、ご協力をお願いしたい。

議員回答

道の駅の指定管理料などは本年度940万円くらい。今後指定管理料の持ち出しが少なくなるよう議会からも求めている。

農林水産課

道の駅の手数料については、本人持込の場合20%、集荷の場合5%加算となっている。手数料の助成については、今後検討する。

道の駅の指定管理料は、清掃管理（トイレ含む）、店舗セキュリティ、データ通信費等を対象として350万円、平成24年度は浄化槽の管理委託料103万円（国交省負担を含む）、加工ブースの整備費250万円（24年度のみ）等が含まれている。

道の駅（サンピコ）について

本市の手数料は集配だと25%とられ、包装を含めると30%位になる。浜田市は市が補助している。

江津工業団地

工業団地企業立地促進条例の改正条例の制定について、補助金の名目が変わるが、この水は敷川に流れて海を汚すことになる。汚濁物質をどこまで薄めるのか、水の使用料の限度は決めてあるのか。【東部】

条例の制定については、希釈して排水しても環境悪化につながるのでは。環境を守ることにどう考えているのか。【中部】

商工観光課

工業団地企業立地促進条例の改正条例については、国の環境基準の改正に伴い、企業の環境対策に増加する経費負担の一部を支援するもの。また、工場排水の処理方法については、環境省、経産省と協議の上、専門家の意見を聞き対応している。水使用料補助金については、限度額を設けている。

商工観光課

工業団地管理下にある、他への転用は認めていない。【東部】

誘致が進まない。農業団地として転換できないか。【東部】



工業団地

額を設けている。【東部】

市民に開放することはできないか。【東部】

市民に開放することはできないか。【東部】

都市計画課

平成23年度実績230件（うち日帰り37件）1,079人（うち日帰り170人）。利用者のうち約9割は市外の方で利用月は5月、7月、8月で全体の7割以上を占めている。

商工観光課

有福温泉に建設された石見神楽殿の集客状況は。【東部】

平成22年度に整備した湯のまち神楽殿については、毎週土曜日の定期公演と夜神楽公演を行っている。平成23年度は75回の公演で2,480人、平均30人が観覧された。平成24年度も、昨年度並みの観覧者数

観光事業について

オートキャンプ場の年間の利用状況は。【東部】

平成23年度実績230件（うち日帰り37件）1,079人（うち日帰り170人）。利用者のうち約9割は市外の方で利用月は5月、7月、8月で全体の7割以上を占めている。

有福温泉に建設された石見神楽殿の集客状況は。【東部】

平成22年度に整備した湯のまち神楽殿については、毎週土曜日の定期公演と夜神楽公演を行っている。平成23年度は75回の公演で2,480人、平均30人が観覧された。平成24年度も、昨年度並みの観覧者数



有福温泉 湯のまち神楽殿

で推移している。神楽目当ての宿泊者もいると聞いており、有福温泉の集客に貢献している。

夏祭り時の火文字の費用はいくらかかっているのか。【東部】

江の川祭り時の火文字については、毎年7月20日～8月31日までの33日間点灯。設置費・電気料等の経費は、江の川祭り実行委員会が負担しており、平成23年度は約97万円となっている。また、点灯個所の下刈りなどの補修経費を市が毎年約40万円負担している。

中心市街地整備事業は、当初予算4億円に賛成しても施設ができなかったら無駄にならないか。【西部】

風の国について

風の国へ行く新しい道路ができたそうだが、お年寄りや行きたくても便がないので行けない。月に1度でもバスが来るようなことはできないか。【中部】

議員回答

風の国側では何人か集まれば送迎はしてくれると思う。市民全体が利用できるよう執行部に伝える。

商工観光課

第3セクターとして市民への還元は考えており、また、市民に愛される施設になるとともに、経営的にも市民の利用が増加することは重要と考えている。市道新山中線の開通を契機として入浴料の市民割引を行うなどした結果、市民利用は増加している。6人以上の団体はサービスとして送迎をするが、定期的な送迎バス

公共交通について

バス事業に補助金を出しているが、石見交通バス（有福線）が将来的にどのような不安。西部小学校統合でのスクールバス運行となれば、混乗する方法でもいいのではないか。【西部】

商工観光課

石見交通から有福線の廃止等については現時点では聞いていない。駅前施設ができれば、人が来るだろうだけでなく、来る人（交通手段等）のことも考えてほしい。三江線を利用したことがあるか。もっと公共交通に予算を使ってほしい。

商工観光課

江津市バリアフリー基本構想（平成23年3月策定）において、中心市街地

道の駅が遠くバス停もないので行きにくい。バス停を作ってほしい。【中部】

議員回答

バス停については、以前、生活交通バス、市内循環バスも市道新山中線開通に合わせ今後検討していくという答弁があった。

商工観光課

バス停の新設については、石見交通に要望する。

市道の整備について

人家が1軒しかない

土木建設課

平成24年3月末時点の市道の舗装率は約86%であり、約14%の69kmが未舗装。その内66kmが比較的交通量の少ない生活道などの「その他市道」となっている。

ご要望については、定任対策としての舗装整備は重要な施策として位置付けられるので、財政事情を勘案の上、実施を検討していく。また現在、生活道として利用されている未舗装の市道及び里道に關しては、市から材料を支給する制度があり、今年度も各自治会から既に4カ所の要望を受けている。

中心市街地整備事業について

社会福祉協議会や子育て支援センターが

公共複合施設に入るというが、それぞれの空き施設利用についてどうするのか。（駅前の社協の場所が）機能的に小さくなった場合、その空いた所を福祉のために使わせてもらえるように要望する。社協の移転について、意見を聞いてもらえる余地はあるのか。それとも構想はすでに出ているのか。市長が発表することは十分に話し合いがなされた上での最終決定と思っていた。事前に議会との協議はないのか。【東部】

都市計画課

社会福祉協議会や子育てサポートセンターが移転した後の施設の活用については、相談させていたいただきたい。移転にあたっての要望については、可能なものは反映の整備方針を説明し、現在議会においてもその方針についていろいろな角度から検証されている。

議員回答

基本的に明らかになっていない。建設厚生委員会としては社協とも話しを聞き、要望を聞いていく。予算も膨らむのではないかと心配もある。まだ検討する余地はあるので十分協議していく。しかし基本的には団体の意見を集約するのは行政であり、私達は執行部から示されたことに対して検討を行うもの。委員会としても、先般施設に入る立場の団体の意見を聞く場を設けた。色々な意見を通してよい方向に持っていくのが本来の姿と考える。複合施設に入る団体も決定したわけではない。来られる人のことも考えて議論したい。

都市計画課 今年度予算では、公共複合施設などの設計委託料と一部用地買収費を計上しており、平成27年度末を目標に事業を進めていく。



江津駅前で行われた手つなぎ土曜夜市

公園管理について

問 中央公園の多目的広場の利用者名簿が古いまま1年半以上も更新されず置いてある。利用者名簿を使用していないのならば撤去すべきである。サービス向上を。【南部】

答 子ども達への励みやその後の成長の糧になつていないのか、検証もされていない。この頃は、推薦者も地域の子どもの良さが把握できず、学校や親が賞を決めるなど当初の目的や狙いが薄れ、情性・マンネリ化している現状である。実施しなければ条例違反というところであれば条例改正をすべきではないか。町

子どもほめ条例について



多目的広場で行われる玉江大会

今年3月に撤去した。今後も利用者が気持ちよく利用できる公園を目指していく。

子どもほめ条例について

議員回答 ほめ条例の予算については市内各種団体等の寄付金であり税金は使っていない。不評という意見は地区によってはあると聞いている。議会の中でも見直す必要があるのではとの意見が出た。

学校教育課

この条例は、児童生徒の良いところを見出し表彰することによって、心身ともに健全な生徒を地域ぐるみで育てることを目的としたものである。表彰された子どもたちは、その後の学校生活等において、色々

民運動会の中で40分も時間をかけて表彰したりして時間も延びる。賞の決め方も形骸化している。ほめ条例によって、何であの子が賞をもらうのかと、いじめが起きている実態もある。【東部】

議員回答

今回は、同一の陳情者がすべて出しているが、一つひとつはもつともと思うが整合性が取れていないことから、不採択した。審査

な困難を乗り越えてくれる1つの糧になつているものと思う。これまでに、表彰を受けた生徒が、大学生や成人を迎える時、このメダルがいろいろな苦労を乗り越えるきっかけとなつたと手紙や言葉を送っていたこともある。地域の推進委員会の皆様に推薦をいただくことを通じ、地域ぐるみで子どもたちに関心を持つてもらうことにより、地域の教育力の向上につながっている。表彰式の日程は、各地域とも、できるだけ多くの地域住民が集まる運動会や文化祭等で実施している。表彰することによりいじめが起きている意見については、看過できないことではないので、その他のいじめも含め早急に調査し、いじめ防止に対処していく考えである。

図書館について

問 図書館はどうなるのか。1年でも早く建設を。【南部】

議員回答 図書館については新市建設計画にも出ているので、これから検討される。

社会教育課

図書館建設については、多くの市民の皆様が早期の建設を望んでおられることは十分承知している。基本計画を踏まえ、場所・規模・蔵書冊数や運営方法等について協議を進めるとともに、財源確保を念頭に1日も早い実現に向



現在の江津市図書館

け、努力する。

問 水の国は無駄ではないか。職員を減らすべきだ。【西部】

社会教育課 水の国の利用者は、年々減少していることは事実だが各種イベントの開催やボランティアガイドと協力して入館者対策を重点課題としてその促進に取り組んでいる。職員は嘱託員をパートに変えるなど最低限の人員で行っている。なお、水の国も含めた公共施設のあり方について検討したい。

問 市民センターについて、使用料が近隣市のどこよりも高い。天

下り先になつている(3年毎)。職員5人は多い。【西部】

社会教育課 使用料は市内の他施設との均衡を考慮して設定している。近隣市町村の同規模施設と比較して高

指定管理者について

問 風の国について、公共的事業は最終的に誰が責任を持つのか。公務員はやれば何もないが個人ではそうはいかない。長引かせることはいけないと思う。今後どうするつもりか。【中部】

議員回答

議会で議論した中で、ラストチャンスと何度も言われた中で認めている限り、議会にも責任がある。今後、「またどうにかしてくれと言われてもそうはいきませんよ」といった強い意見も出ている。



風の国

議会に対する意見・提言への回答

議会活動に対して

い料金とはなっていない。職員は館の管理業務だけでなく、文化活

問 幼稚園の統合問題は突然で一方的だった。議会も説明を受けている。今後小学校の統合問題も出ているが、報道を通しての情報しかない。そういう意味ではこのような場が設けられたことはよかった。正確な情報をきちんと市民に伝えて欲しい。【東部】

れば定住対策や子育て支援に効果が出てくると思う。この点について議員の見解をうかがいたい。【東部】

議員回答

議員一人一人が肝に銘じて各地区で取組んで行きたい。議長にもしっかり伝える。

問 市税が市の職員の人員費になっている。人口減が進む中で2万7千人の将来人口の見通しなど、真剣な議論がされているのか疑問。議会は行政の追認機関になつていないか。十分なチェックがされているのか不審に思う。【東部】

減が進む中で2万7千人の将来人口の見通しなど、真剣な議論がされているのか疑問。議会は行政の追認機関になつていないか。十分なチェックがされているのか不審に思う。【東部】

議員回答

今回は、同一の陳情者がすべて出しているが、一つひとつはもつともと思うが整合性が取れていないことから、不採択した。審査

後期計画の人口目標

については実態と乖離している。これは江津市という枠組みで捉えている。市の人口は現在2万5千人だが、市として減少してもいいということにはならない。増加の方向でしか計画を立てられないということと理解している。

請願・陳情について

は、国民の権利である。議会だよりによると年金関係の陳情が不採択されている。年金をもらう者としては当然の要求で不思議に思うのだが、議会の考えは、また、議会で何か取扱いの基準や判断基準があるのか。陳情者への返答は。【中部・西部】

議員回答

今回は、同一の陳情者がすべて出しているが、一つひとつはもつともと思うが整合性が取れていないことから、不採択した。審査

については、国会の様子、有識者の話などを調べ、また、執行部にも状況を聞くなど時間をかけて行っている。基準としては、明らかに議会でも取り扱うものがないもの、同じ内容のもの、報告だけにしている、審査を行わない場合があるがほとんどは受け付けている。陳情者には結果を返答している。

旧有福共管議会について

分村時から現状認識が地元住民にできていない。原爆療養所分湯についても突然話が出る。議員・旅館・地元住民・利用者との相互理解ができていない。協議会を作り、情報交換ができる環境を作つて欲しい。【西部】

議員回答

検討する必要性を感じている。



有福温泉御前湯

問 政治が混迷し、国民から不信感をもたれている。ケーブルテレビで議会中継を見ているが、緊張感がない。質問者と執行部の答弁がかみ合っていない。寝ている人もいる。見られているという立場でいてほしい。もっとスリム化してほしい。議会報告会の回数を増やしてほしい。議会報告会の要点等を作つてほしい。市民目線をお願いしたい。【南部】

議員回答

参考にしたがら改善したい。

◇風の国の薬草公園について、3,200万円の予算をつけるのは甘いのではないか。エビネ蘭は以前からずさんな管理であった。議会ではどう議論をしたのか。【中部】

議員回答

議会でも議論をしている。これまでも厳しい意見が出ている。基金も枯渇し維持管理費の持ち出しが増えている。社長も替わり、経営改革に取り組む計画書も出された。それによれば23年度末は800万円の赤字で、28年度に1,000万円の黒字の見込み。エビネ蘭を処分し薬草を薬膳料理、薬草風呂などに活用予定。議会でも改善するよう求めている。市の負担がこれ以上かかるのであれば予算執行は難しいと思う。

◇議会報告会はいいこと。熱意の表れ。一歩前進。平成22年の改選で24名を16名にしたことはいいこと。積極的な活動をしてほしい。指定管理をしている113施設への指導はできないのか。【南部】

議員回答

議会報告会は、議員自身の資質向上にもつながる。指定管理は応募者がいないのが現状。議会として決算等の報告の時に意見を言っている。

中心市街地整備事業について

◇駅前ビジョンが見えない。議会として対策はないのか。駅前は建物の9割が空き家といわれているが、そこに建物を建てて賑わいが生まれるのか。全体を見渡して考えてほしい。【南部】

◇中心市街地について

なぜ図書館をやめて複合施設となったのか。施設に入る側と調整ができていないと聞く。施設整備の方向性と市民の意見聴取について議会は今後どう対応するのか。【中部】

議員回答

今回、商工会議所でも駅前ビルのところへホテルが建てられるか調査したり、フアンチャアあげぼの跡地に民間で整備する動きもある。委員会内では、複合施設を建てなくても良いのではと言う意見もある。また、社協について以前市民の中から総合福祉センターを建ててほしいという意見もあった。今後6月議会で市長から建設費用やランニングコストがいくらかかるかなど計画が示されると思う。(6月議会では示されませんでした。)

行財政について

◇江津市の財政状況はどうか。基金についてもうかがう。【東部】

議員回答

厳しい財政状況。財政調整基金と減債基金、他にもあるが全て合わせて24億円となっている。事業を行うにも国庫の補助や過疎債が使えるものなど有利な財源があるものを選択しながら、市の持ち出し分が少しでも少なくなるよう工夫している。国勢調査により2千人減となり一人頭10万円の地方交付税の減となっている。27年度からは合併での特例措置がなくなるので財政的には非常にきびしい中でやっている。

その他の意見・提言

◇下水道は進んでいるが、水道未普及地域がある。今回報告で久保

川地区が整備されることを聞いたので安心した。市内ではまだ未普及のところがあるので。【中部】

議員回答

現在、平成19年度に策定された計画に基づいて実行し、計画通り進んでいる。普及率が全体の何%なのか今すぐに回答できないが、あと残っているのは歩市町の小原地区である。(後日調査の結果、平成24年3月末水道普及率92・77%)



◇市報でアメリカ(コナ市)との中学生の相互交流が、毎年掲載されていたが昨年度はその記事が載らなかったがどうなったか。多額の税金で続けられてきた経緯から市民に説明する責任があると思う。【東部】

議員回答
コナ市のあるカリフォルニア州の景気が悪く、予算的に厳しいということ、現在休止となっている。



次回の議会報告会は、11月に市内4カ所で開催する予定です。詳しい内容が決まりましたら、お知らせいたします。

発行責任者
議長 河野 正行

臨時号編集
議会広報・情報公開
対策特別委員会

議会改革特別委員会